

香川高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	計画学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	211423			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建設環境工学科（2019年度以降入学者）			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	川上光彦著：都市計画，森北出版						
担当教員	宮崎 耕輔						
到達目標							
我が国の都市計画制度についての知識を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
都市や都市的地域の特性を説明することができる。	都市や都市的地域の特性を完璧に説明することができる。			都市や都市的地域の特性を説明することができる。		都市や都市的地域の特性を説明することができない。	
都市計画の歴史の概要を説明することができる。	都市計画の歴史の概要を完璧に説明することができる。			都市計画の歴史の概要を説明することができる。		都市計画の歴史の概要を説明することができない。	
都市基本計画についての概要を説明することができる。	都市基本計画についての概要を完璧に説明することができる。			都市基本計画についての概要を説明することができる。		都市基本計画についての概要を説明することができない。	
土地利用計画についての概要を説明することができる。	土地利用計画についての概要を完璧に説明することができる。			土地利用計画についての概要を説明することができる。		土地利用計画についての概要を説明することができない。	
用途地域の説明ができる。	用途地域の説明が完璧にできる。			用途地域の説明ができる。		用途地域の説明ができない。	
土地区画整理と市街地再開発事業について説明することができる。	土地区画整理と市街地再開発事業について完璧に説明することができる。			土地区画整理と市街地再開発事業について説明することができる。		土地区画整理と市街地再開発事業について説明することができない。	
都市交通計画の概要について説明することができる。	都市交通計画の概要について完璧に説明することができる。			都市交通計画の概要について説明することができる。		都市交通計画の概要について説明することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-2							
教育方法等							
概要	講義形式による都市計画制度に関する知識の習得を行う。						
授業の進め方・方法	スライドなどを用いて講義を行う。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	都市論		都市や都市的地域の特性を説明することができる。		
		2週	都市計画論		都市計画の歴史の概要を説明することができる。		
		3週	都市基本計画		都市基本計画についての概要を説明することができる。		
		4週	都市基本計画		都市基本計画についての概要を説明することができる。		
		5週	土地利用計画		土地利用計画についての概要を説明することができる。		
		6週	土地利用計画		用途地域の説明ができる。		
		7週	市街地開発事業		土地区画整理と市街地再開発事業について説明することができる。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	中間試験の解説と後半の進め方についての説明				
		10週	市街地開発事業		土地区画整理と市街地再開発事業について説明することができる。		
		11週	市街地開発事業		土地区画整理と市街地再開発事業について説明することができる。		
		12週	都市交通計画		都市交通計画の概要について説明することができる。		
		13週	都市交通計画		都市交通計画の概要について説明することができる。		
		14週	公園・緑地・オープンスペースの計画		公園・緑地・オープンスペースの計画の概要について説明することができる。		
		15週	公園・緑地・オープンスペースの計画		公園・緑地・オープンスペースの計画の概要について説明することができる。		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	国土と地域の定義を説明できる。		4	前1
				日本、世界における古代、中世および現代の都市計画の思想および理念と実際について、説明できる。		4	前1
				都市計画法と都市計画関連法の概要について、説明できる。		4	前3,前4
				土地利用計画と交通計画について、説明できる。		4	前5,前6

			総合計画とマスタープランについて、説明できる。	4	前4
			都市計画区域の区域区分と用途地域について、説明できる。	4	前5,前6
			交通流調査(交通量調査、速度調査)、交通流動調査(パーセントリップ調査、自動車OD調査)について、説明できる。	4	前12,前13
			交通需要予測(4段階推定)について、説明できる。	4	前12,前13
			緑化と環境整備(緑の基本計画)について、説明できる。	4	前14,前15
			土地区画整理事業を説明できる。	4	前7,前10,前11
			市街地開発・再開発事業を説明できる。	4	前7,前10,前11
			交通流、交通量の特性、交通容量について、説明できる。	4	前12,前13

評価割合			
	試験	レポート	合計
総合評価割合	80	20	100
都市や都市的地域の特性を説明することができる。	10	2	12
都市計画の歴史の概要を説明することができる。	10	2	12
都市基本計画についての概要を説明することができる。	10	3	13
土地利用計画についての概要を説明することができる。	10	3	13
用途地域の説明ができる。	10	3	13
土地区画整理と市街地再開発事業について説明することができる。	10	3	13
都市交通計画の概要について説明することができる。	10	2	12
公園・緑地・オープンスペースの計画	10	2	12